



日本文化を楽しく体験！

3 / 28

町内に勤務する外国人労働者に日本や美幌町に対する理解を深めてもらうことを目的に、伝統文化等を体験してもらう「多文化共生推進事業」が開催されました。

びほろ町

ぎがい

3月定例会のあらまし

行政報告・補正予算など……………	2 P
令和3年度予算質疑……………	4 P
意見書……………	6 P

こんなことを聞きました

一般質問 10人登壇……………	7 P
-----------------	-----

新しい議場が供用開始

新しい議場の紹介……………	17 P
1月臨時会・2月臨時会……………	18 P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No. 240 令和3年5月1日

◇発行／北海道美幌町議会

◇編集／議会運営委員会

3月定例会

新年度予算・条例改正などを審議

3月定例会のあらまし

- 【2日】町長から行政報告を受けた後、オホーツク町村公平委員会委員の選任、補正予算など、令和2年度関連議案を審議し、原案どおり可決しました。続いて、令和3年度関連議案を一括上程し、町政執行方針と教育行政執行方針が示された後、議員2名（木村・藤原）が一般質問に登壇。地域づくり、図書館運営などについて活発な議論が交わされました。
- 【3日】議員5名（馬場・戸澤・高橋・坂田・稲垣）が一般質問に登壇。除雪体制、峠の湯びほろ、観光政策、教育、防災などについて活発な議論が交わされました。
- 【4日】議員3名（上杉・大江・岡本）が一般質問に登壇。ごみ処理、ワクチン接種などについて活発な議論が交わされました。その後、各担当部長から新年度関連議案について説明を受けました。
- 【5日】前日に引き続き、各担当部長から新年度関連議案について説明を受けました。
- 【8、9日】休憩中に、各議員が新年度予算案に対する疑問点を整理し、関係部局へ資料を要求しました。
- 【10、11日】議決休会とし、各議員が資料を要求したものに対して、関係部局が資料を作成しました。
- 【12、15日】新年度予算案など議案に対する質疑を行いました。
- 【16日】新年度予算案に対する質疑を行い、会派等審議を行った後、新年度関連議案の表決が行われ、全て原案どおり可決しました。その後、一般会計補正予算の追加議案を審議し可決。1件の意見書案を審議し、定期監査報告などの報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告（要旨）

◆ご寄附について

- ・町内在住の狩野アヤ様から、福祉に役立ててほしいと、100万円。
 - ・株式会社中神土木設計事務所様から、新庁舎建設に役立ててほしいと、100万円。
 - ・株式会社スタートトゥデイ代表取締役社長 前澤友作様から、「ふるさと納税8億円アイデア」として、まちづくり活動に役立ててほしいと、500万円。
 - ・株式会社道央環境センター様から、町のために役立ててほしいと、100万円。
- ご厚志をありがたくお受けし、それぞれのご趣旨に沿って活用します。

◆美幌町立国民健康保険病院の医師の退職について

総合診療科の酒井英二医師が、3月31日付けで退職することとなりました。これにより内科診療は、5人から4人体制となりますが、しっかりと引継ぎを行い、今後も診療にあたります。

日常的な診療、透析診療や救急診療に加え、新型コロナウイルス感染症に関わる業務など、残る医師の負担増加が懸念されることから、一日でも早い後任医師の確保に努めます。

補 正 予 算

令和2年度補正予算(一般会計・5特別会計・2事業会計)は全て原案どおり可決しました。主な一般会計補正予算の内容は次のとおりです。

一 般 会 計

- 新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務委託料 130万5千円
- 除排雪委託料の増 1,118万4千円
- 地域振興センター解体除却工事 1,500万円
- 役場分庁舎解体除却工事 287万円

令和2年度、令和3年度補正予算(一般会計)が追加議案として提案され、原案どおり可決しました。主な補正内容は次のとおりです。

- 新型コロナウイルス対策タクシー運行継続支援事業 208万円
- 地域集会施設感染予防対策事業補助金 123万5千円
- 新型コロナウイルス感染症検査費用補助金 700万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務委託料 933万6千円
- 新型コロナウイルスワクチン被接種者送迎委託料 1,052万円
- 新型コロナウイルス対策事業継続支援金 2,400万円
- 新型コロナウイルス対策商工団体等販売促進支援事業補助金 500万円
- 新型コロナウイルス対策中小企業者感染予防支援事業補助金 3,000万円

各会計補正額と補正後の総額

会 計 名	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計 (第13号) (第14号)	△9,769万9千円	175億2,195万9千円
国民健康保険特別会計(第5号)	5,445万3千円	26億9,950万円
後期高齢者医療特別会計(第3号)	79万2千円	3億2,321万1千円
介護保険特別会計(第5号)	△71万5千円	20億3,108万9千円
公共下水道特別会計(第3号)	△2,217万7千円	9億6,211万3千円
個別排水処理特別会計(第2号)	△1,081万4千円	9,800万円
水道事業会計(第3号)	△947万4千円	11億8,194万8千円
病院事業会計(第5号)	1,273万8千円	24億9,290万8千円

※ () 内は、補正回数

人事案件(オホーツク町村公平委員会委員・人権擁護委員)

選任の同意、推薦の決定がされました。

■オホーツク町村公平委員会委員

佐藤 明美 氏(新) 訓子府町東幸町48

■人権擁護委員

澤田 孝一 氏(再) 美禽18番地の101

加藤 幸恵 氏(新) 西2条北2丁目1番地の2

そのほか、町道路線の一部変更、指定管理者の指定、条例改正などが審議され、全て原案どおり可決しました。

一般会計 111億5千403万8千円

役場庁舎整備・新型コロナウイルス感染症対策及びワクチン接種経費など

令和3年度の予算編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響、高齢化による社会保障関連経費の増などにより厳しい財政状況が予想される中、第6期美幌町総合計画の着実な推進及び第2次美幌町財政運営計画に沿った予算編成作業を進めてきたところです。

役場庁舎の整備、次期廃棄物処理施設の整備計画策定、公共施設の団体移転に伴う改修のほか、町長重点政策に掲げる事業、新型コロナウイルス感染症対策及びワクチン接種に要する経費などを積み上げた結果、一般会計は111億円の予算規模となりました。

ここでは、一般会計を中心に、主な予算質疑の内容をお知らせします。

総務費

空き家等除却費補助金
(500万円)

事業内容は、

管理不全の空き家の解消と定住を促進するため、空き家の解体費用の助成をするもの。8件を見込んで予算計上している。



集会所維持管理委託料
(402万5千円)

増額となった理由

自治会の会員減少

により、集会所の管理運営に支障をきたしていることから、令和元年度の集会所の利用回数、利用時間を基に、使用料収入と維持管理委託料で収支が赤字にならないよう見直しを行ったため。

民生費

ボランティアポイント事業補助金
(36万4千円)

事業内容は、

社会福祉協議会が運営するボランティアセンターに登録した方が、ボランティア活動や社会活動に参加することでポイントが付与され、貯まったポイントを地産品等に交換することができるとする事業。事業名称は「ささえ手くらぶ」。町は事業経費の2分の1を補助する。

結婚新生活支援事業補助金
(300万円)

事業内容は、

新婚世帯の新生活に係る住宅費用及び引越費用の一部を補助することにより、婚姻にともなう経済的負担を軽減し、少子化対策を推進しようとするもの。



衛生費

一般廃棄物処理基本計画策定業務委託料
(550万円)

業務内容は、

現在の基本計画は平成15年度に策定したもので、次期廃棄物処理施設を整備するにあ



～ 廃棄物処理場 ～

農林水産業費

農村ツーリズム推進業務委託料
(26万4千円)

業務内容は、

農村ツーリズム事業を円滑に実施するため、教育旅行受入に関する業務などの一部を観光まちづくり協議会へ委託するもの。

一般会計歳出予算と主な事業

◆新規事業 ◇拡充事業 (対前年比)

議会費	8,143万1千円	(△0.8%)	商工費	4億9,717万5千円	(14.9%)
総務費	9億5,209万4千円	(△70.8%)	◇新型コロナウイルスプレミアム商品券発行事業	4,271万9千円	
◆空き家等除却費補助金	500万円		◆事業承継支援事業	150万円	
◇地域集会室維持管理	720万6千円		土木費	11億1,685万円	(4.5%)
◆防災資機材備蓄倉庫実施設計	388万3千円		◆除雪車両整備	7,749万9千円	
民生費	25億8,697万円	(1.9%)	◆三橋南団地共同階段手摺設置	981万8千円	
◆介護従事者確保対策事業補助金	200万円		消防費	4億2,835万9千円	(△17.7%)
◆結婚新生活支援事業補助金	300万円		教育費	7億5,872万9千円	(△46.5%)
衛生費	11億5,418万5千円	(12.4%)	◇美幌高等学校教育支援事業補助金	794万8千円	
◇PCR検査センター維持管理	273万6千円		◇小学校ICT教育環境整備事業	1,015万2千円	
◇新型コロナウイルスワクチン接種事業	8,437万8千円		◇中学校ICT教育環境整備事業	561万3千円	
◆ごみ処分場改修整備事業	1,425万9千円		公債費	9億9,292万9千円	(9.6%)
労働費	2,570万4千円	(0.3%)	職員給与費	19億1,941万8千円	(0.9%)
農林水産業費	6億3,919万4千円	(△26.2%)	予備費	100万円	(0.0%)
◆農村ツーリズム推進事業	38万8千円		合計	111億5,403万8千円	(△20.6%)

商工費

事業承継支援事業補助金
(150万円)

問 事業内容は。

答 本町の事業者が直面している課題である事業承継を促し、事業の継続化及び雇用の安定を図ることを目的として、国の持続化補助金に上乘せ補助するもの。

土木費

三橋南団地共同階段手摺設置工事
(981万8千円)

問 工事内容は。

答 三橋南団地全3棟の共同階段室全10箇所の1階から4階に、連続した手摺を設置するものであり、自立支柱及び壁付金物を併用し階段室の内回りに設置する。

教育費

美幌高等学校教育支援事業補助金
(794万8千円)

問 事業内容は。

答 ①美幌高校の寄宿舎に入寮している生徒の生活支援と生徒への寮確保
②生徒募集のためのPR活動
③生徒の在宅学習支援
④美幌高校の魅力づくり・PRにつながる活動支援（商品開発等支援・地域みらい留学フェスタへの参加補助）
⑤女子生徒下宿費補助



～ 三橋南団地 ～

公共下水道特別会計

地方公営企業法適用化業務委託料
(2千23万2千円)

問 業務内容は。

答 総務省より令和5年度末までに完了させるよう要請されている公共下水道事業の地方公営企業法適用について、法適用方針の作成、固定資産台帳の整備などを委託しようとするもの。



～ 美幌高校 ～

病院事業会計

給食材料費
(10万円)

問 地元食材を使用し入院食を提供するにいたった経緯は。

答 地元には新鮮で栄養価の高い食材があり、おいしい食事であり、かつ栄養を摂ってもらうことが治療にもプラスになると医師から提案があり、地元食材を使用した食事を旬な時期に提供し、治癒力向上にもつながりたいと取り組むもの。(年4回を予定)



～ 国民健康保険病院 ～

1 件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和3年3月定例会では、1件の意見書案を可決し、国等の関係機関へ提出しました。ここでは主な内容についてお知らせします。

高レベル放射性廃棄物の最終処分場にしないことを求める意見書（要旨）

原子力発電は、放射性廃棄物の最終処分方法を確立しないまま進められ、高レベル放射性廃棄物の最終処分は、地下300mの深い地層に埋める「地層処分」を行うとしているが、複数の巨大プレートがある地震多発国の日本において、「10万年間の監視が必要な核廃棄物を安全に保管できるのか」といった疑問は未だに解消されていない。また、幌延深地層研究センターは、「研究期間20年程度」との約束を反故にし、2019年8月、唐突な「研究延長」を道と幌延町に申し入れ、道民の声を十分に吟味することなく、知事は拙速に研究延長の受け入れを表明した。さらに、新たな「500m掘削案」も浮上し、研究期間の再延長が懸念される。こうした巨額の交付金と引き換えに「調査」を受け入れれば、途中で後戻りできないことは先例を見れば明らかであり、住民の不安や垣根の上に成り立つような自治体運営を進めてはならない。

美幌町議会としては「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例」に基づき、北海道内に高レベル放射性廃棄物処分場を受け入れることは容認できない。

よって、国及び道においては、下記の事項について確実に実行するよう強く要望する。

- ① 「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例」に基づき、北海道内に高レベル放射性廃棄物最終処分場を設置しないこと。
- ② 美幌町において、研究施設などの名目や名称を問わず、高レベル放射性廃棄物の最終処分に関わる一切の事前調査を行わないこと。

こんなことを決めました

一般質問

には10人が登壇

質問者と質問項目

■坂田 美栄子議員 ……………12頁 ① 教育行政について	■高橋 秀明議員 ……………11頁 ① 観光政策について ② 市街地活性化について ③ 交流促進センターの運営について	■戸澤 義典議員 ……………10頁 ① 峠の湯びほろについて ② 町長公約の進捗状況	■馬場 博美議員 ……………9頁 ① 除雪業務について ② 新型コロナウイルス感染症について ③ 町政執行方針について ④ 教育行政執行方針について	■藤原 公一議員 ……………8頁 ① 図書館運営について ② 選挙投票所について	■木村 利昭議員 ……………7頁 ① 若者育成と高齢者の活躍で きる地域づくり ② 新型コロナウイルス対策について	■稲垣 淳一議員 ……………13頁 ① 教育行政について ② 防災対策について	■上杉 晃央議員 ……………14頁 ① ごみ処理対策について	■大江 道男議員 ……………15頁 ① 新型コロナウイルス感染症 止対策について ② 生活保護について	■岡本美代子議員 ……………16頁 ① 峠の湯びほろの環境整備 ② 衛生行政について ③ 教育行政について
---	---	---	---	---	---	--	--	---	---

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあって最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



若者育成 問「美幌社会人大学」を開設してはどうか

木村
利昭議員

答 ニーズに合った学習環境を提供していきたい

問 人口減少、少子高齢化社会でも町民が豊かに暮らしていくためには、「現役を勇退された高齢者が元気に輝けること」、「若者が社会の担い手として責任を持つて地域で活躍できること」が大切な要件と考える。

そこで、地方の大学と連携した、若者が社会人としてのスキルやマナーを磨くための「美幌社会人

大学」を開設してはどうか。現役を勇退された高齢者を人生の先輩として講師に招くことで若者と高齢者の繋がりを生む機会にもなり、人口減少・少子高齢化も乗り越える力になると考える。

答 町内では、主に自治会を中心としたサロンや各地域の老人クラブのほか、NPO法人「絆ーびほろ」など、元氣な高齢者が地域で様々な生きがい活動に取り組まれている。また、社会人の学び場については、町内の青年を対象とした青年講

座やイマドキ講座を実施しており、高齢者の生きがいづくりの場として明和大学を開校し、年間を通して学びの場を提供している。今後も現在実施している各種事業や講座の充実とともに、町民の皆さまのニーズを拾い上げながらニーズに合った学習環境を提供していきたい。



新型コロナウイルス対策

宅配支援について

問 影響が特に大きい飲食店については、テイクアウト等の取り組みを行っているが、実際にテイクアウトを利用できるのは自家用車を所有している人が主であり、交通弱者の方はテイクアウトを利用することはできない。まだまだ長引くウィズコロナの時代を乗り切るため、新型コロナウイルスの影響が出ている間だけでも飲食店、交通弱者のための宅配支援を行ってみてはどうか。

答 美幌町においては、平成24年11月より美幌商工会議所が平成26年6月からは合同会社びほろ宅配

・便利サービスプロジェクトが弁当配達も含めた宅配・便利サービスを実施してきたが、利用ニーズが少なく、事業として継続が困難であったため、昨年9月に事業を廃止している経過がある。北見市・網走市・旭川市などで実施した利用実績も踏まえ、現在のところ美幌町では宅配支援を実施する考えはない。



一般質問

図書館運営

ブックシャワーの導入について

藤原
公一
議員

答 道内の導入状況を含め調査・研究を進める



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。

問 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、読書をして過ごしている人も増えているが、図書館や学校図書館など多数の方が接触する本を触りたくないという方もいる。図書館では保護シートをかけた除菌をしていることは承知しているが、職員の負担軽減のためにも、紫外線照射で図書を殺菌する「ブックシャワー」

導入についての計画は。

答 ブックシャワーの導入について現段階では具体的な計画はないが、利用者の安心と衛生的な図書の提供を念頭に置いて、道内の図書館の導入状況等も含め、調査・研究を進めていきたい。

問 全国的にも導入が進められているデジタル図書は、新しい図書館としてサービスの向上に繋がると思う。ICT教育により1人に1台タブレットが貸与されることも踏まえて、今後デジタル図書導

入の計画は。

答 デジタル図書のシステムには毎年一定程度の経費が必要となり、場合によってはデジタル図書が紙の書籍より値段が高くなることや、図書館の来館者が減ることの懸念や契約期間終了後は書籍を読むことができないなどの課題もある。デジタル図書のメリットや課題などを研究し、導入の可能性について検討したい。

選挙 投票所

今後のあり方について

問 投票率が低下する中、期日前投票所

の分散も検討すべきと考えるが、今後新型コロナウイルス感染症対策を含めた、期日前投票所の増設等、投票所の考え方は。

答 投票所については、関係自治会に対し投票区及び投票所の見直しを提案しているところ。見直しにより、市街地区では6投票区6投票所から5投票区5投票所になり、使用する施設が公共施設だけになることから、「3密」を避けるスペースの確保等が可能と考えている。期日前投票所については、投票所までの距離が遠くなる一部地域に臨時期日前投票所を設置することとしている。

問 視力の低下や国政選挙における比例

区と選挙区の混同などもあると聞いており、高齢者が投票しやすい環境づくりと配慮が必要になると考える。投票所に個人で記載したメモや法定ビラを持ち込むことの可否は。

答 選挙人が備忘録としてメモの持ち込みや選挙運動用ビラを持ち込むことは可能だが、必要以上に大きい紙に書いたものや投票所の他の人に見えるような場合などは公職選挙法に抵触することもあると考えられるので注意いただきたい。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



除雪業務

問 日中の除雪の考え方は

馬場
博美議員

答 危険が伴うため今後も深夜帯で対応したい

問 現在一斉除雪は深夜0時から実施されており、歩行者及び車両の往来が少なく、安全のためということだが、幹線道路、バス路線、通学路線等については、日中でも積雪の状況に応じて除雪すべきと考えるが。

答 幹線道路等を日中除雪するには、道路の一時通行止めをしながら各交差点に堆積された雪を除雪

する必要がある、車両や歩行者の往来、重機の死角など視界不良の中での作業となり危険が伴うため、今後も原則は深夜帯での一斉除雪で対応したい。なお、これまでも救急車等の緊急車両の通行については消防署と連携を図っており、路線バス運行業者からも随時情報をいただきながら個別に対応している。

新型コロナウイルス対策

今後の対策について

問 町は昨年3月から12月まで様々な新型コロナウイルス感

染症対策を講じてきたが、対策の検証はどのようにしているのか。

答 各部局において実施結果の検証及び関係団体や協力団体との協議を行った後、町の感染症対策本部会議において、引き続き対策が必要であると判断された事業について、令和3年度の当初予算として計上したところ。

町政執行方針

予算への反映は

問 令和3年度町政執行方針において、慎重な行財政運営を意識しながらも、将

来にわたり持続可能なまちづくりを推進するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期することを念頭に置き予算編成にあたったとあるが、財政運営計画をどのように予算に反映させたのか。

答 令和3年度の予算編成においては、中期財政試算における普通建設事業費の一般財源額、地方債の借入額、公債費、主要3基金の残高などから大きく逸脱することのないように予算編成を行っている。今後も新型コロナウイルス感染症に係る対応に加え、社会保障関連経費の増、公共施設の整備など厳しい行財政運営が予想されるが、健全な財政運営の維持に努めていきたい。

教育行政執行方針

今後の対応策は



問 令和3年度教育行政執行方針における高等学校との連携・支援について、今後の対応策は。

答 しっかりと地域に美幌高校の状況を説明し、高校と一体となって町内中学校への訪問を強化し、管内の中学校においても宣伝を積極的に行う。今後も地域の特色を生かした教育が進められていることを広くPRし、美幌高校を引き続き支援していく。

一般質問

峠の湯

問 峠の湯びほろの将来構想は

戸澤
義典議員

答 早い段階で方向性を示したい



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。

問 令和元年9月定例会において、峠の湯びほろの将来構想について質問していたところだが、1年が経過し、現在の指定管理者との契約も残り1年となり、この1年間で十分検討を重ねてきたと思うが、検討内容と結果は。

答 令和元年9月定例会において質問をいただいたから、さらに検討を重ねてい

たところだが、新型コロナウイルス感染症の拡大や、町内の温泉施設であったLIFE IN BIHOROが昨年8月で事業休止するなど、状況が大きく変化している。このような状況変化はあるものの、施設の老朽化が進んでいくことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も見通せないこと、次期指定管理者募集時期も近々であることから、早い段階で方向性を示していきたいと考えている。



峠の湯びほろ

オフグリッドソーラー発電

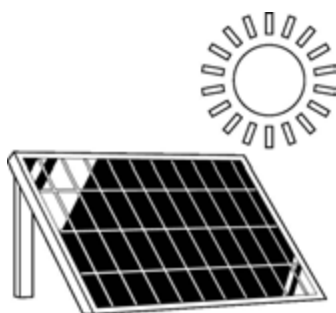
今後の取り組みは

問 令和元年6月定例会において、町長の公約であるオフグリッド小規模ソーラー発電の推進について考えを聞いたところ。今年は、燃料不足と寒波、コロナ禍の影響もあり、全国的に電力の需給が逼迫

しているとのことだが、真冬にブラックアウトが起きれば命に係わることとなる。これまで公約実現に向けて様々な研究・検討をしてきたと思うが、これまでの成果と課題、今後の取り組みについては。

答 災害時における照明や携帯電話の充電といった最低限の電源確保手段として蓄電池を備えたオフグリッド小規模ソーラー発電が有効と考えていたところだが、現実的には冬期における暖房や家電等の使用を視野に入れた取り組みの検討が必要であり、その際必要発電量の算定や機器の規模などの課題が生じてくる。一方で、太陽光発電設備において蓄電池設置

が標準となったり、プラグインハイブリッド車を利用した外部給電も実用化され、大容量の電源確保も可能となってきた。併せて家庭用蓄電池の性能向上や価格低下が進み、簡単に確保できる状況にもなっており、様々な手段を講ずることが可能となっている。今後においては、家庭内での電源確保の紹介や多角的な観点から低コストで実用的な手段を研究していきたい。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



観光政策

問 今後の観光政策の具体的な取り組みは

高橋
秀明
議員

答 体験型観光をさらに加速させたい

問 コロナ禍後の国内需要の動きを注視し、今後の観光政策を積極的に考えるべきと考える。本町の最大宿泊施設であったホテルが新型コロナウイルスの影響を受け閉鎖となったが、観光と宿泊施設は密接な関係にあり、宿泊施設の誘致は重要な課題と考えるが、今後の観光政策の具体的な取り組みについては。

答 令和3年度は体験型観光をさらに加速させるため、レンタサイクル事業やサイクリイベントを新たに展開し、サイクルツーリズムを推進するとともに、カルデラ外輪山トレイルルート整備調査事業については、今後の整備や維持管理について本格的に検討を進める予定。宿泊施設については、当面教育旅行を主とした農泊・農村ツーリズムの推進や、町内に増えつつある民泊を活用し、今後の新型コロナウイルスの影響の推移を見ながら、

宿泊施設の確保に努めていきたい。



市街地活性化

今後の対策について

問 コロナ禍の中、ほとんどの事業者は大変な経営を余儀なくされている。そのような状況においても、各商店会では全体的にぎわいを回復

峠の湯びほろ

今後の運営について

問 交流促進センター（峠の湯）について

では、業務委託費と修繕費を町が負担しているが、それでも

収支は安定している状況と聞いている。また、施設の老朽化や源泉施設の不具合も抱えており、今後の交流促進センター運営の方向性は。

答 峠の湯を取り巻く状況が大きく変化し、施設の老朽化や新型コロナウイルス感染症拡大の影響も見通せないこと、次期指定管理者募集時期も近づいていることから、早い段階で運営の方向性を示していきたい。

すべく改善策を模索している。町も商店街への人の流れを重視したまちづくりをしなければならいと考え、コロナ禍後を見据えた具体的な取り組みは。

答 事業者支援としては、プレミアム商品券発行事業や小規模事業者持続化補助金、店舗等感染予防対策リフォーム促進支援事業を引き続き実施していく。また、従来からの施策である連合商店会のイベント事業に対する補助やスマッピーカードプレミアム商品券発行事業なども継続する。今後も引き続き、関係団体とも協議しながら事業者・商店街支援を図っていく。

一般質問

教育行政 問 学校現場のICT教育の現状は

坂田
美栄子議員

答 教員の能力向上に努めている



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。

問 全国の小中学校では、GIGAスクール構想により整備された1人1台の端末が子ども達の手に渡り始めているが、多くの教員にとってオンライン学習は未知の領域であり、その準備や実践に悩む教員も多いと言われている。今後加速するICT教育に対応するためには、特に教員側のICT能力の向上が求められる

が、本町の学校現場の現状とオンライン講座を含めた研修の考え方は。

答 教員においては端末の取扱いなどをいち早く習得する必要があるため、先月より教員対象の端末導入研修や電子ドリル教材導入研修など、実際に講師を招いた研修に取り組んでいる。併せて、運用上の様々な事例がオンライン研修として配信されていることから、このような取り組みも各学校に周知しながら教員の能力向上に努めている。



端末導入後の課題について

問 端末導入後の運用をめぐり、
①端末の保管方法
②機器トラブルの対応
③デジタル教材の購入
④更新計画の作成
などの課題が考えられるが、どのように対応していくのか。

答 ①クラスの人数分を一括収納できる電源保管庫を各教室に設置する。

②まずは授業担当の教員が対応することを前提とし、ソフト面はヘルプデスクの利用、ハード面は予備端末を用意して適宜対応する。

③令和3年度は、デジタル教材の電子ドリルの購入や既存の教科書に登載のQRコードの活用を考えている。

④本町のICT機器整備計画に基づき年次的に整備しているものであり、今後も同様に考えている。

病気休職者の相談窓口

問 教職員の精神疾患による休職者は平成30年度から増加し

ており、学校における業務量の増加や新型コロナウイルスに対応しながらの職務が精神的負担に繋がっているとの懸念もあり、働き方改革が急務となっている。勤務時間の管理はもとより、健康相談窓口を整備する必要があると考えるが、本町の実態と対応についての考え方は。

答 現在、町内の学校では休職者はいない。美幌町ではこれまで管理職による教職員との面談のほか、教職員同士のサポート体制など、職場環境の充実に加え、本年度よりスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者のみならず、教職員の相談体制づくりに努めている。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



教育行政 問 小中一貫教育についての検討は

稲垣
淳一
議員

答 中学校教育への接続を円滑に行うことを目指す



問 小学校と中学校の間の連続性、系統性などの一貫性を持たせた教育の重要性が見いだされ、小中一貫教育の推進や小中一貫校を開設する自治体が増えてきている。学校の統合・再編の問題と合わせ、教育内容を充実させ、魅力ある学校教育を展開するため、小中一貫教育を推進すべきと考える。今後の美幌町における

学校を取り巻く環境として施設の老朽化、少子化による児童数の減少もある中、小中一貫教育について今後具体的に検討していく考えは。

答 現時点では考えていないが、まずは小中連携に係る強化が必要と考えている。このため、本年度は中学校英語教員による小学校巡回指導に取り組んだところ。引き続き教員が相互に情報交換・交流を行う公開授業などを通して、小学校教育から中学校教育への接続を円滑に行うことを目指した取り組みを進めていきたい。

防災対策

厳冬の対策について



問 2018年9月に発生した北海道胆振東部地震では、ブラックアウトという経験したことのない大停電に多くの町民が苦慮したが、冬期間にあのような災害が発生した場合の対

策を進めていきたい。

策について、避難所における備品の内容などを含め、コロナ禍における厳冬の防災対策についての考え方は。

答 寒冷地においては冬の災害を想定した備えが特に重要になると認識しており、従来の冬期対応に加えて感染症対策も講じる必要がある。避難所用備品については発電機や石油ストーブ、毛布など可能な限り各避難所へ分散配備をし、発災時に速やかに避難所を開設できるよう努めている。コロナ禍における厳冬の防災対策としては、昨年行った避難所開設訓練での検証をもとに、受付時の防護具着用、消毒液の設置、

健康チェックや避難者の動線設定、スペースのゾーニングのほか、室内の衛生環境の保持や換気が必要と考えている。このほか、町民の皆さまにおいては、事前の備えとして冬期には衛生資機材を加えていただき、避難所の運営にあたっては積極的にご協力をいただくなど、「自助」「共助」「公助」が連携する体制を構築していきたい。



一般質問

ごみ処理 問 埋立処分場の今後の対策について

上杉
晃央議員

答 次期処分場の整備に向け計画的に検討する



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。

問 第Ⅲ期埋立処分場について、残余容量調査結果によると実質的に計画より6年早く満杯になるということだが、埋め立てごみの量が増えた原因をどう分析しているのか。また、第Ⅳ期埋立処分場整備計画を今後どのように取り組んでいくのか。併せて、近隣市町へ一部ごみ処理を委託するなどの可能性については。

答 埋め立てごみが増えた原因については、ごみ排出量を重量(トン)から体積(立法メートル)に換算する場合には体積換算係数を使用して残余容量を算出するが、当初計画よりもごみの性質等が異なり、体積換算係数が大きくなっていること、令和元年6月に発生した処分場内の火災による覆土とその後火災予防のための覆土量の増加、「その他プラ」などの資源化率が当初より低いことなどが考えられる。今後は町民の皆さまにごみ分

別の徹底や排出マナーの向上について一層の周知を行うほか、次期処分場の整備に向け、一般廃棄物処理基本計画を策定し、計画的に検討していく。



埋立処分場

問 今後ごみ減量化を図るため、先進地の事例を調査し、町

民の理解と協力を得て資源ごみの分別種類を増やし、コンテナ回収の導入などリサイクル率を向上させ、売払収入の確保を検討すべきと考えるが。

答 まずは現在の分別方式を町民の皆さまに徹底することが優先する課題であると認識している。今後様々な手法で周知をしたい。資源ごみの分別種類については、現在一般ごみとして回収している小型金属を資源ごみの回収時に合わせて収集できるように委託業者と打合せを行っている。リサイクル率向上のために、その他の資源ごみについて、公共施設内などにコンテナを設置し

改修することが可能かどうか今後検討していく。

問 今まで破棄していた印刷物を紙に再生できる「ペーパーボ」が開発され、導入する企業や自治体が増えている。情報漏洩の心配がなく、環境にも配慮された機器だが、導入について検討してはどうか。

答 機器購入の初期費用などが、現在の廃棄にかかる費用及び紙再生分で補える用紙代などを含めたランニングコストとの比較で多額であること、現在の廃棄処理が個人情報保護や環境への配慮がなされていることから、現在のところ導入する予定はない。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



新型コロナウイルス ワクチン接種にかかる体制は

大江
道男議員

答 美幌医師会と協議を重ねている



問 ①ワクチン接種業務にかかる人員確保と接種体制確立の見通しは。
②高齢者や基礎疾患のある方などの優先接種に該当する方の実数は。
③高齢者への接種の開始時期や接種場所、移動困難な方への対応は。
④優先接種の対象となる基礎疾患のある方などの把握方法は。
⑤高齢者施設等従事

者へのワクチン接種時期は。

答 ①美幌医師会に協力いただき、接種体制について協議を重ねている。詳細が整い次第、町民にお知らせしたい。
②医療従事者686人、65歳以上の高齢者7,107人、高齢者施設等の従事者397人、基礎疾患のある方は国の算定方法に基づいた算出で1,193人。
③個別接種については協力いただける町内の医療機関で、集団接種についてはしやきつとプラザでの実施を予定。介護老

人保健施設及び介護老人福祉施設については施設内で接種できるよう準備を進める。訪問診療を受けている方は訪問時の接種を予定している。
④本人からの申請により優先者として接種を受けてもらうことを想定している。
⑤入所者と同時に接種を行う。

生活保護



円滑な実施について

問 コロナ禍において全国的に解雇や雇止めが増加する中、生活保護申請権が脅かされ、生活保護を受けられない事態が後を絶たない状況に

行政検査以外の検査拡大は困難な状況。最近では検査キットによる民間での検査実施が可能となったことから、医療従事者、高齢者施設の入所者及び従事者を対象に検査費用の助成を行いたいと考えている。

おいて、
①昨年の美幌町の生活保護実施状況について。
②扶養照会の改善や自動車保有の是非など要件が弾力的に取り扱われることになった点について、美幌町での取扱いは。
答 ①平成31年3月末の保護世帯数は251世帯、保護率は1・57%であり、令和2年10月末では246世帯、1・58%で、ここ数年は大きな変動なく推移している。
②郡部における生活保護の決定機関は北海道であり、振興局に確認したところ、美幌町において新たな弾力的取扱いとして運用された件はなかった。

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



峠の湯

問 洗い場の安全確保対策は

岡本
美代子議員

答

衛生上の観点からも出入口等にマットを敷いて対応している



問 峠の湯を利用する高齢者から、滑りやすい洗い場を歩くのが怖いという声が聞かれる。マット等何らかの工夫で洗い場の安全確保対策をとるべきと考えるが。

答 温泉の泉質ではアルカリ度が強くなるほど滑りやすいと言われており、峠の湯は弱アルカリ性であるため、若干滑りやすくなっていると思われる。現指定管

衛生行政

ごみ処分について

問 第Ⅲ期埋立処分場の使用期限が計画より早まる予定であ

理者は、これまで安全対策として様々な洗剤を試しながら清掃しているが、なかなか効果が見られないことから、現在はい浴室内の出入口等の一部にマットを敷いて対応しているところ。洗い場にマットを敷くと体を流した後の石鹸が残り滑りやすくなることや、衛生上の観点からも出入口等の一部に敷いている現状。

り、今後は今まで以上にリサイクルに取り組む必要がある。伐採木の資源化や紙おむつのリサイクルなど、広域的に取り組むことも視野に入るべきと考えるが。

答 公共施設等で伐採木が発生した場合、有効活用できると思われる部分について、町内の牧場に持ち込み、牛舎内の寝藁として再利用しているが、一般家庭から排出される全ての伐採木の資源化は難しいと判断している。紙おむつについては埋め立て処理を行っているが、先進



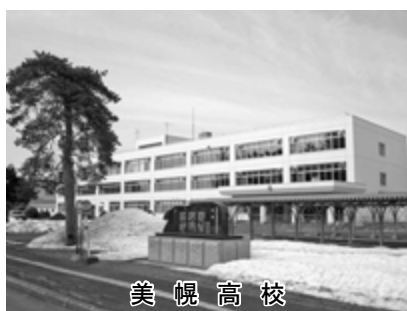
自治体では殺菌等の衛生的処理をした上で、再生利用・熱回収に取り組む事例もあることから、今後調査研究していきたい。

美幌高校

資格取得支援について

問 美幌高校では多くの資格を取ることができるが、資格取得には個人の金銭的負担が必要なことから、これらを支援することによって美幌高校の魅力化を図ってはどうか。

答 これまでも検討してきたが、令和3年度においては喫緊の課題である入学者確保に向けた取り組みを最優先させることとしている。今後の中学校卒業生数の推移を見据えても厳しい状況に変わりはないが、引き続き美幌高校とともに「北海道美幌高等学校教育振興対策協議会」や関係諸団体と連携して、一人でも多くの入学者を確保するため尽力していく。



美幌高校

5月6日に新しい議場が供用開始

新庁舎の供用開始に合わせ、新しい議場も5月6日から供用開始されます。

議場は庁舎の3階になります。本会議はどなたでも傍聴できますので、傍聴を希望される方は、3階の議会事務局で傍聴の受付（住所・氏名の記入）をしてからご入場下さい。



議長席側から見た議場です。

木がふんだんに使われ、落ち着いた雰囲気になっています。

傍聴席もこれまでより議席に近くなり、より臨場感があります。

傍聴席の様子です。

十分な席数を確保しており、バリアフリー化により、車椅子の方でも傍聴が可能となっています。



3階には議場、議会事務局、監査委員室などが設置されています。
地階から3階まではエレベーターをご利用できます。

こんなことを決めました

1月臨時会

修繕費の補正、町有地の売却などを審議

専決処分の承認

- ◆ターミナル物産センター北側外壁破損箇所修繕のため。118万3千円

財産処分

- ◆町有地の売却 面積 16,192.56㎡ 金額 52,318,981円
(土地の所在: 美幌町字美禽315番1、315番3、315番4、315番5)
(売却の相手方: アメリカ合衆国(レイジアナ州) グローバルスター社)

専決処分の報告

- ◆役場新庁舎関連工事の設計変更 2件
(美幌町役場庁舎建設建築主体工事、美幌町役場庁舎建設機械設備工事)

2月臨時会

新型コロナウイルスワクチン接種関連経費、小中学校への感染防止対策備品等の購入経費などを可決

補正予算

- ◆一般会計
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種事業として 1,915万1千円
 - ・小中学校における新型コロナウイルス感染症対策に必要な備品等の購入 374万6千円

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。

●美幌町ホームページ
(<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp>) から「美幌町議会」をクリックして下さい。

あとがき

▼昨年1月に国内で陽性が確認され、新型コロナウイルス感染症との戦いが始まりました。美幌町も感染予防、経済支援対策等を迅速に対処し、幸い患者は確認されていませんが、全国的には多数の陽性者が出続けています。これからも警戒が必要です。ワクチン接種も本格的に開始されますが、完全終息の日が来るまで、一人一人が感染予防に心がけましょう。

▼今年も美幌町役場に新入職員が入庁しました。コロナ禍での就職活動は苦労があったかと想像しますが、将来の美幌町はあなた達にかかっています。誠意努力を怠らず職務に励んで下さい。

(秀明)

議会運営委員会

委員長 上杉 晃央
副委員長 高橋 秀明
委員 岡本美代子
委員 稲垣 淳一
委員 木村 利昭